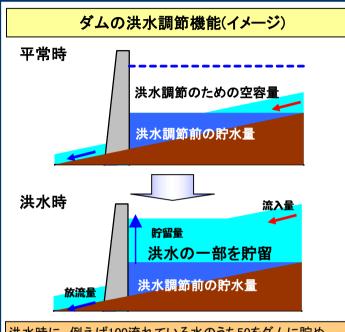
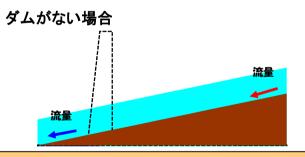
大内ダムの洪水調節効果【秋田県】(速報)



洪水時に、例えば100流れている水のうち50をダムに貯め ダム下流には50だけ流します。



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は50%になり、洪水被害を軽減します。



大内ダムでは、7月14日の梅雨前線に伴う大雨による出水のため洪水調節を行いました。約8千m3の洪水をダムに貯留し、ダム下流の畑川、芋川に流れる水量を少なくして、洪水被害の軽減に努めました。

大内ダムの洪水調節効果【秋田県】(速報)

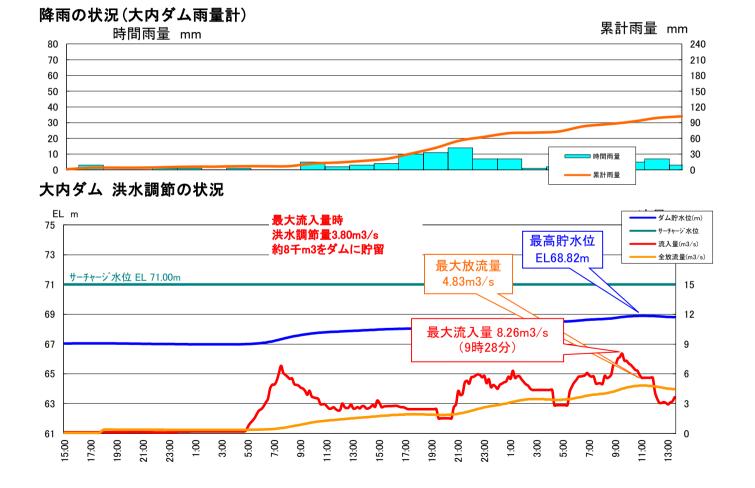
別紙

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

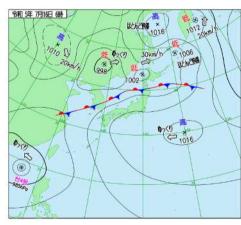
概況

大内ダムでは7月14日の梅雨前線に伴う大雨による出水のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、最大時間雨量16mm、累計雨量は242mmとなり、大内ダムにおける最大流入量は8.26m3/sまで上昇しました。洪水調節の結果、洪水調節量として3.80m3/s、約8千m3の水をダムに貯留し、畑川、高城取水場付近では7cm河川水位を下げることができました。



天気図 (7月16日 6時00分)



大内ダム諸元

) (1 1) — HIJO	
河 川 名	子吉川水系 畑川
形 式	重力式コンクリートダム
堤高	27. 5m
堤 長	106. 0m
堤 体 積	21, 800m3
集 水 面 積	3. 37km2
湛 水 面 積	O. 13km2
有効貯水量	626 千 m3
サーチャージ水位	EL. 74. 00m
洪 水 流 量	8m3/s
竣工年度	平成20年度